

2022 Houzz & Home (日本)

住宅リフォーム・リノベーション
2021年・2022年 市場調査



概要



リフォーム・リノベーションの実施および支出が 3年連続の高水準に

2021年に自宅のリフォームまたはリノベーションをおこなったと回答した人は全体の21%で、2020年の17%から4ポイント上昇しました。支出額の中央値も、2020年の185万円から2021年は300万円と、62%もの大幅な伸びを記録しました。これは、ハイエンド層（支出額を大きい順に並べた時の上位10パーセント）による支出額が、2020年の1000万円から2021年には1700万円へと大きく増えたことに起因していると考えられます。

家づくりの専門家に対する需要が拡大

リフォーム・リノベーションを実施する際、家づくりの専門家に仕事を依頼した人は2021年には95%にのぼり、2020年の86%からさらに増えました。依頼した専門家の種類では、工務店が43%でもっとも多く、昨年と比較しても34%から9ポイント増加しました。続いてリノベーション会社と建築家が24%で、それぞれ2020年の16%、9%から大幅に上昇しました。

2022年も住まいの改善は堅調

アンケートの回答者は2022年も引き続き、自分の住まいに対して投資を続けていこうとしています。具体的には、22%の人が部屋の模様替えや家具の備え付けを、16%の人がリフォーム・リノベーションを今年計画しています。

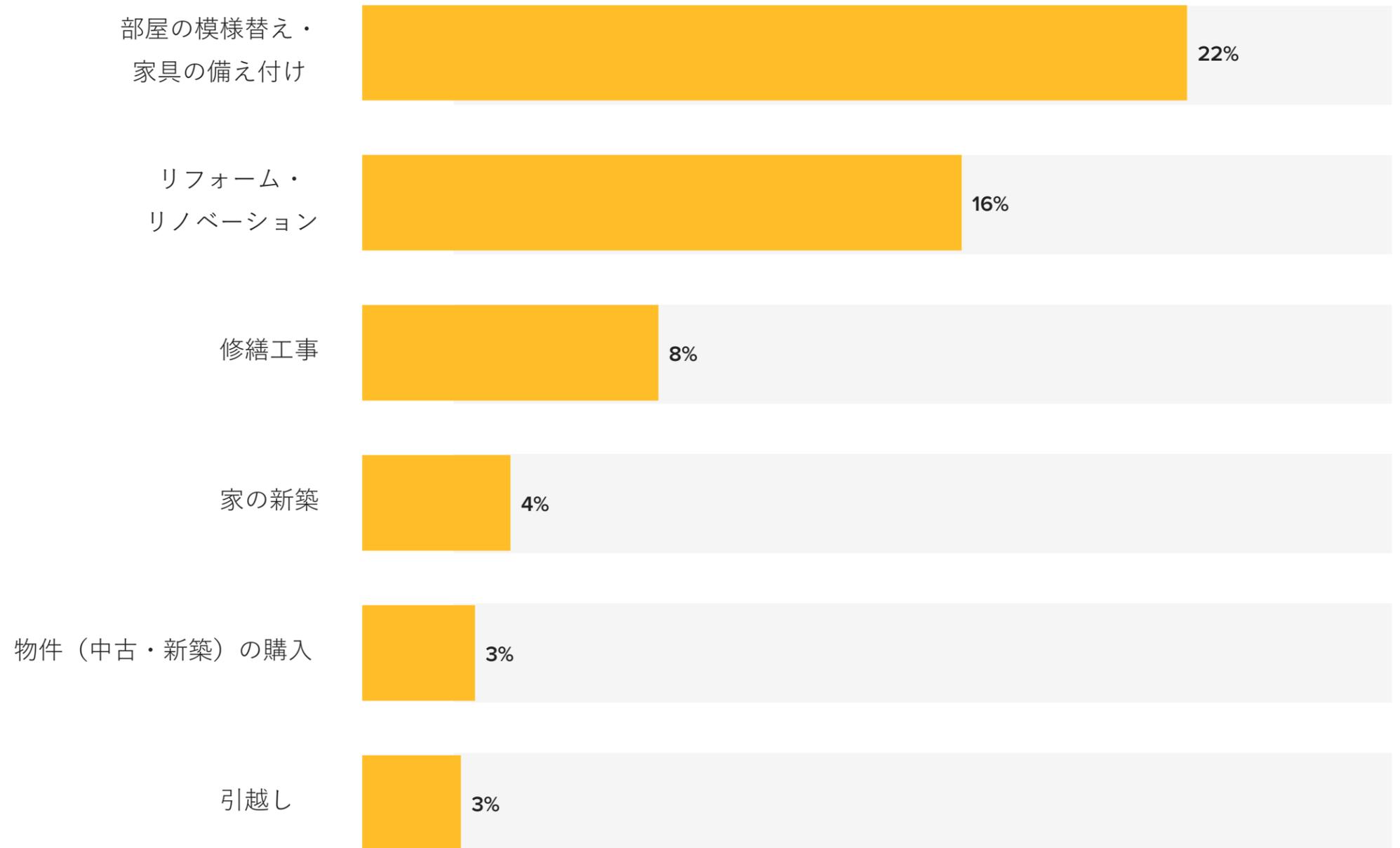
インテリアをより良く

2021年にリフォーム・リノベーションをおこなった人の8割以上（82%）は、インテリアに重点を置いています。中でもバスルームは多くの方が改修をした部屋のひとつであり、支出額も平均で160万円と、部屋の中で最も高額となっています。また、キッチンに対する支出額も150万円と、65万円だった2019年と比較して2倍以上増加しました。2020年と比較してリフォーム・リノベーションを実施した割合が高くなった部屋は、リビングルーム（29%）、寝室（22%）、ダイニングルーム（19%）、そしてクローゼット（15%）でした。

2022年に 計画していること

右のグラフは、Houzz の日本サイトに登録している住まい手が、自宅に対して 2022 年中に計画しているプロジェクトを表しています。

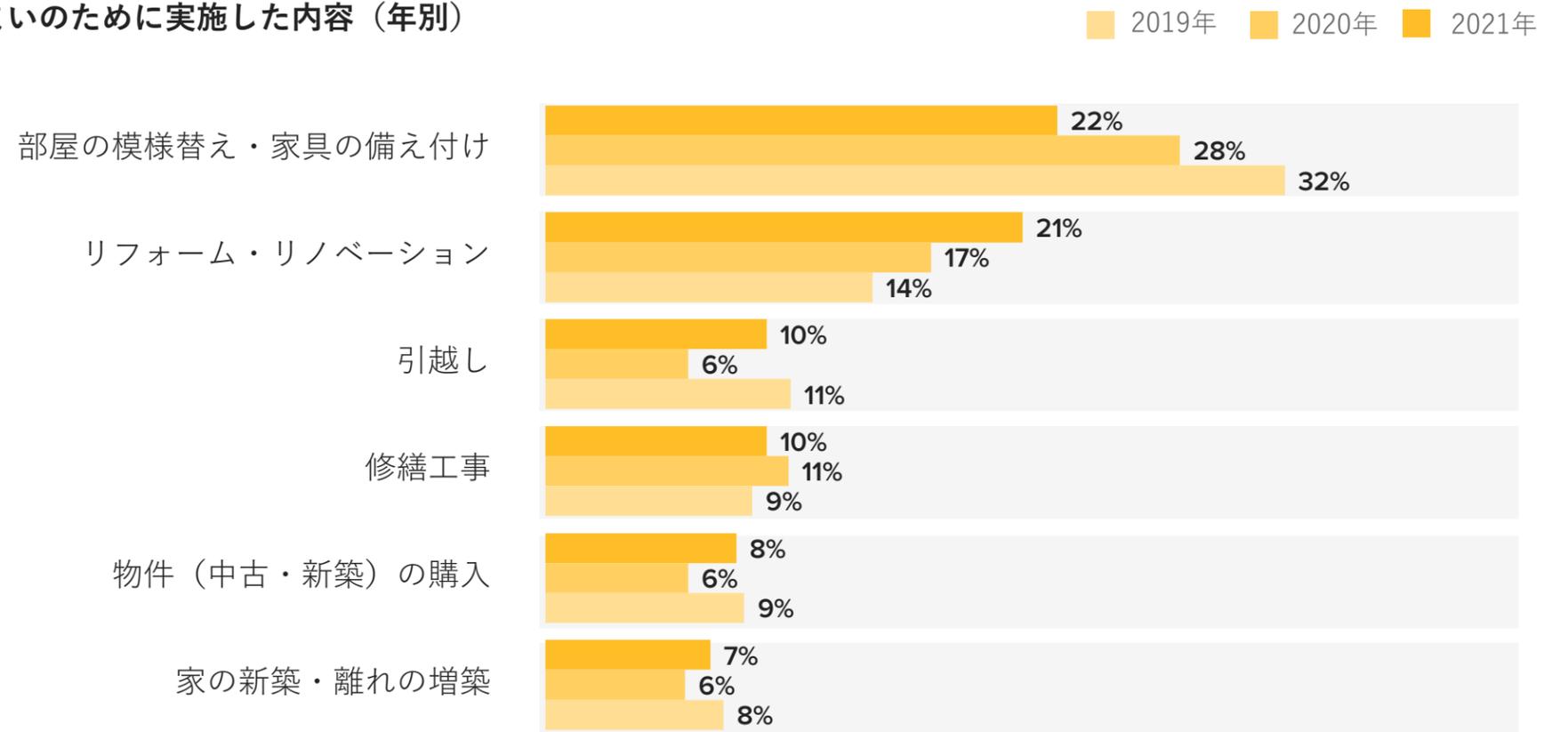
2022年に住まいのために実施しようとしている内容



住まいのために 実施したこと

右のグラフは、Houzz の日本サイトに登録している住まい手の実施した自宅に対するプロジェクトを、年別（2019年、2020年、2021年）に表しています。その下の表は、リフォーム・リノベーションにかかった費用の中央値と90パーセンタイルの値*を実施年別に表しています。

住まいのために実施した内容（年別）



リフォーム・リノベーションに費やした年間の金額

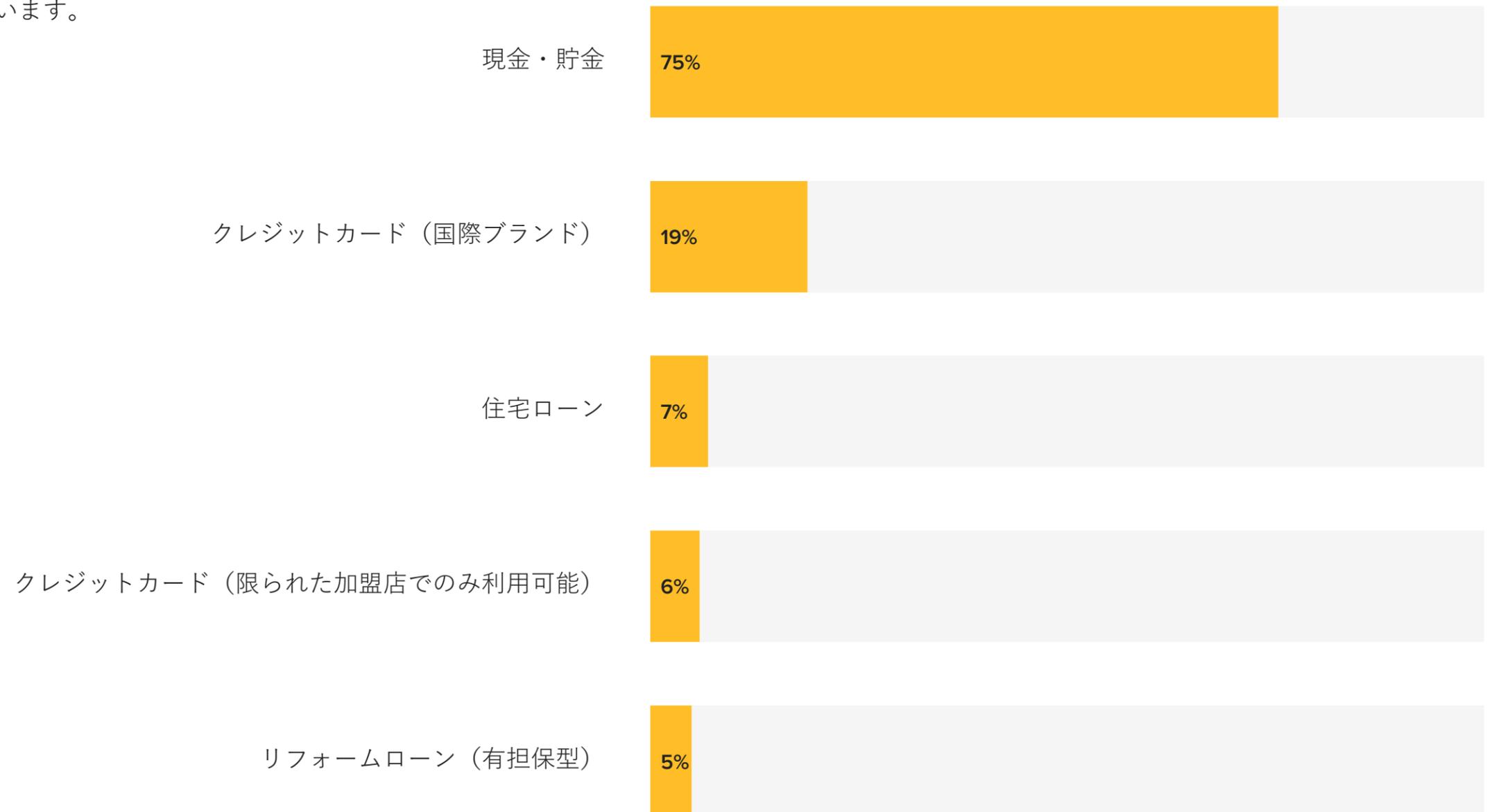
	2019年	2020年	2021年
中央値	¥1,500,000	¥1,850,000	¥3,000,000
90パーセンタイル*	¥15,000,000	¥10,000,000	¥17,000,000

* 90パーセンタイルとは、大きさ順で並べた時に最小値から数えて90%に位置する値のことです。

リフォーム・リノベーション 費用の調達方法

右のグラフは、2021年に自宅のリフォーム・リノベーションをした住まい手が、費用の調達および支払いに採った方法のトップ5を表しています。

費用の調達・支払方法 トップ5 (2021年)

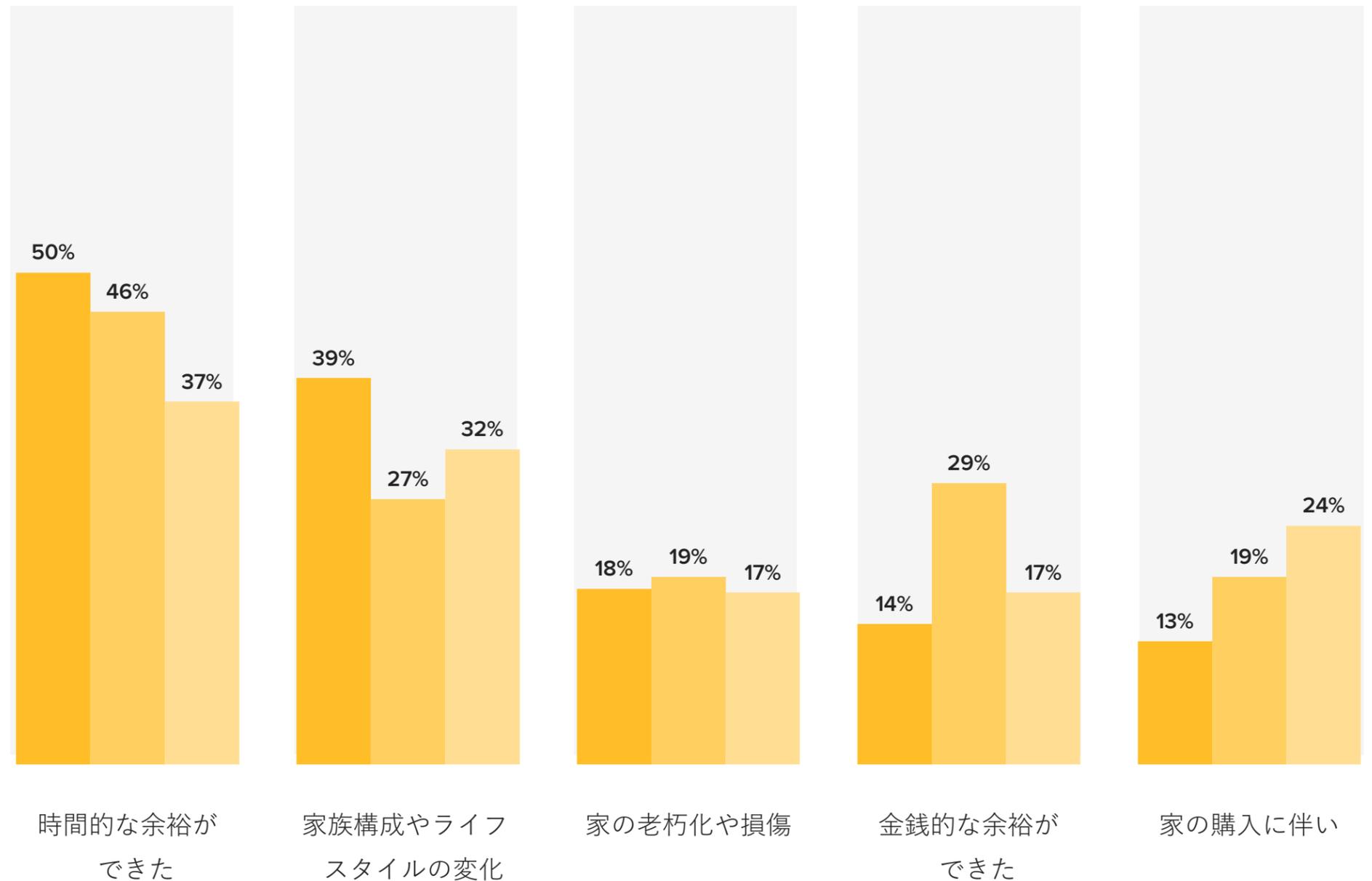


リフォーム・リノベーションを実施した理由

右のグラフは、自宅のリフォーム・リノベーションを実施した住まい手が、なぜこのタイミングで実施しようと思ったのか、その理由として挙げたトップ5を、年別（2019年、2020年、2021年）に表しています。

リフォーム・リノベーションを実施しようと思った理由トップ5（年別）

2019年 2020年 2021年



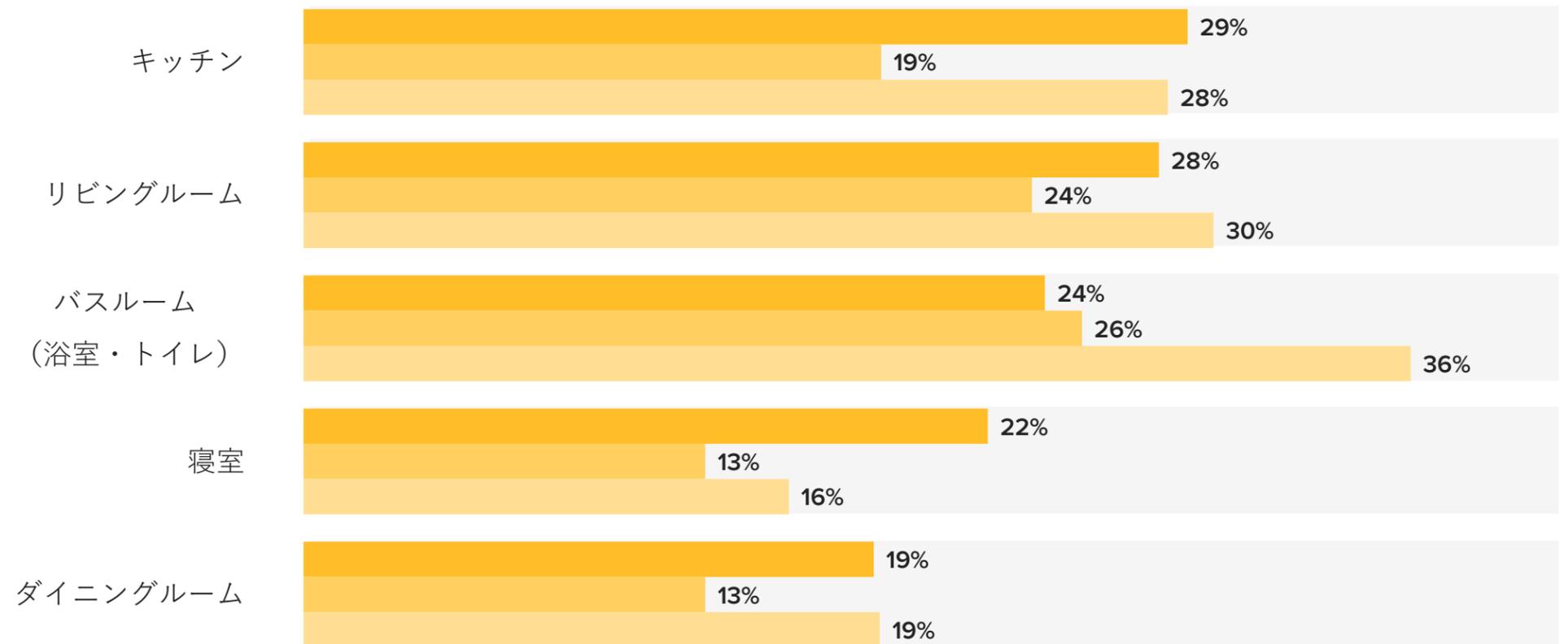
リフォーム・リノベーション が実施された場所

右のグラフは、家の中でリフォーム・リノベーションが最も多く実施された場所を、年別（2019年、2020年、2021年）に表しています。

その下の表は、2021年に最も多く取り替えられた住宅設備、エクステリア設備、庭の設備を表しています。

リフォーム・リノベーションが実施された場所（年別）

2019年 2020年 2021年



2021年に新しくした住宅設備
トップ3

エアコン	31%
ホームオートメーション設備	25%
換気設備	25%

2021年に新しくしたエクステリア
設備 トップ3

外壁（塗装）	21%
屋根	21%
窓・天窗	17%

2021年に新しくした庭の設備
トップ3

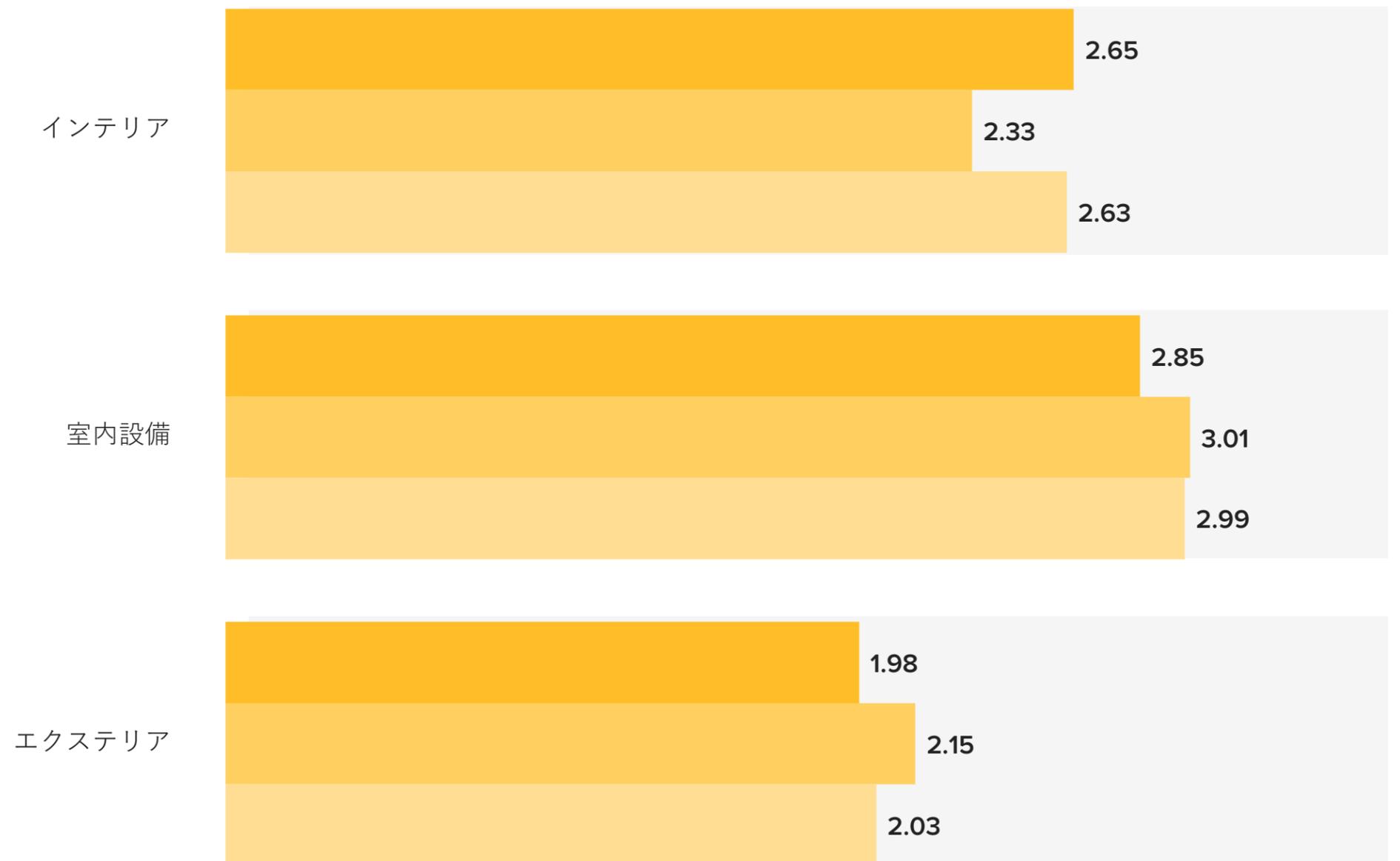
花壇	11%
植木鉢・プランター	10%
パティオ・テラス	7%

リフォーム・リノベーション で取り替えられた設備の個数

右のグラフは、リフォーム・リノベーションが実施された際に、それぞれの場所で取り替えられた設備や機能の平均個数を、年別（2019年、2020年、2021年）に表しています。

新しくした設備の平均個数（年別）

2019年 2020年 2021年

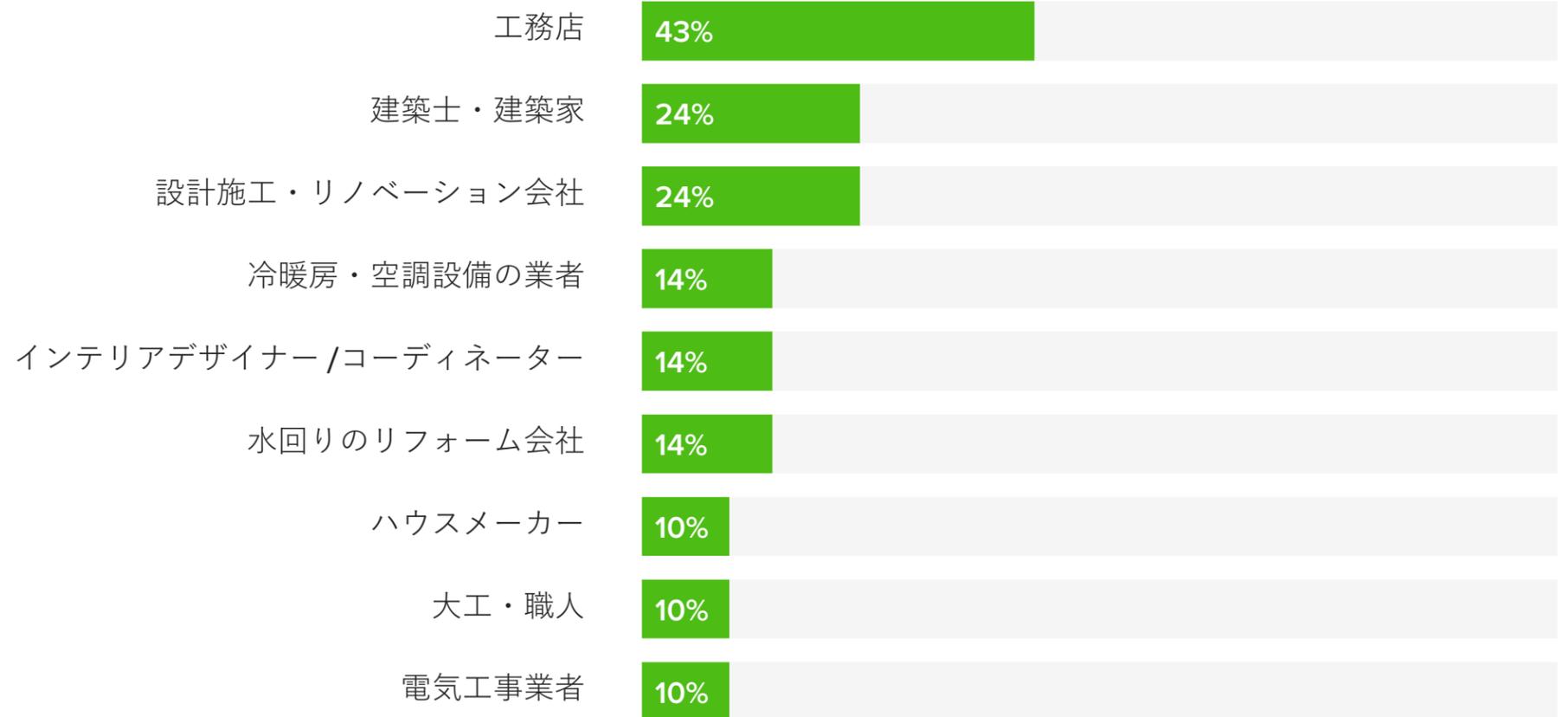


リフォーム・リノベーション を依頼した専門家の業種

右のグラフは、2021年に実施したリフォーム・リノベーションの際に、住まい手が依頼した専門家を業種別に表しています。

その下の表は、リフォーム・リノベーションを専門家に依頼した人の割合を年別に表しています。

依頼した専門家の種類（2021年）



専門家に依頼した割合

2021年	95%
2020年	86%
2019年	84%

アンケート調査方法



アプローチ

Houzz は世界最大級の家づくりとインテリアデザインのプラットフォームで、家づくりに必要な情報をウェブサイトやアプリで提供しています。部屋の模様替えからリフォーム、リノベーション、注文住宅の建築など、住まいに関するあらゆることについて、世界中の「住む人」と「住まいの専門家」をつないでいます。Houzz には世界中の熱心なユーザーによる大規模なコミュニティがあり、その中でリフォーム・リノベーションを行った人を対象に、毎年「Houzz & Home」という家づくりに関するアンケート調査を実施しています。これは、住宅の改修、新築、部屋の装飾などについての Houzz でもっとも大規模な調査でアンケートの結果は家づくりを行うユーザー（専門家を含む）に参考としていただく目的で公開しています。今回の Houzz & Home 調査は 2022年の3月から4月にかけて実施され、部屋の改修、住宅設備の交換、エクステリアの工事など、2021年中に実施されたリフォーム・リノベーションのさまざまな側面を調査しました。また、工事の予算と実際の支出金額、住まいの専門家への依頼状況、リフォーム・リノベーションを実施した理由のほか、2022年中の家づくりの予定についての質問も含まれています。

調査対象

この調査は、160問で構成されており、Houzz に登録している18歳以上の国内ユーザーのうち、2021年中にリフォーム・リノベーションを行なった人を対象に実施されました。日本では631名から回答があり、そのうち530名の住まい手からの有効回答と、2021年中に自宅をリフォーム・リノベーションを実施した住まい手 108名の有効回答を集計したのになります。

実施方法とサンプリング

本調査は、電子メールで Houzz に登録しているユーザーに通知され、その電子メール中のリンクからアンケートサイトに移動してアンケートに回答する形で実施されました。回答者に集計結果の公開の承諾を得て、アンケート結果を公開しています。また、最終的なデータは Houzz のユーザー集団を表しているかレビューされています。

參考資料

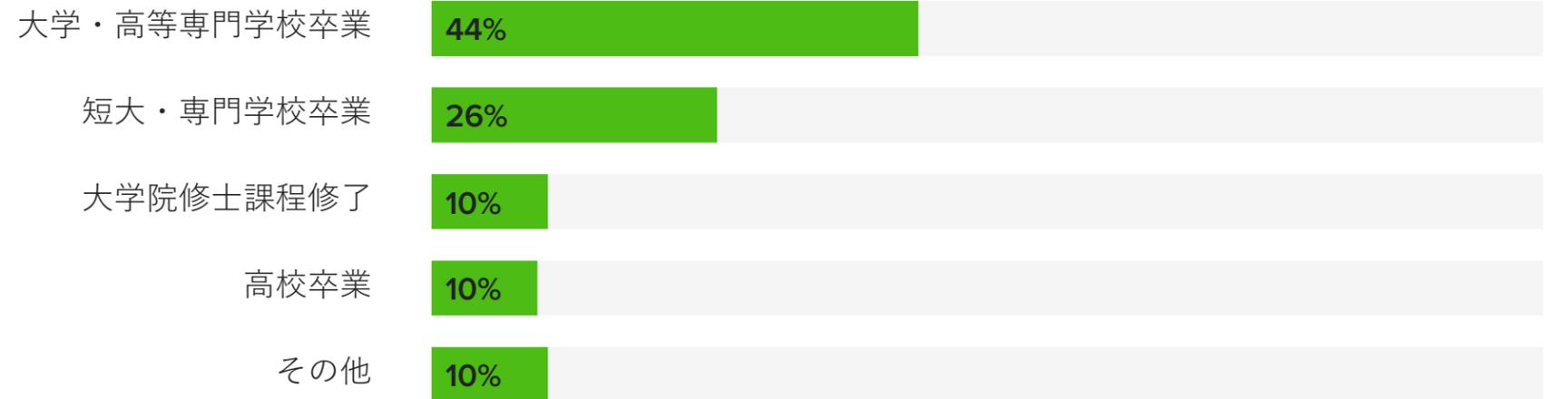


A. 2021年にリフォーム・リノベーションをした Houzz ユーザー層

配偶者の有無



最終学歴



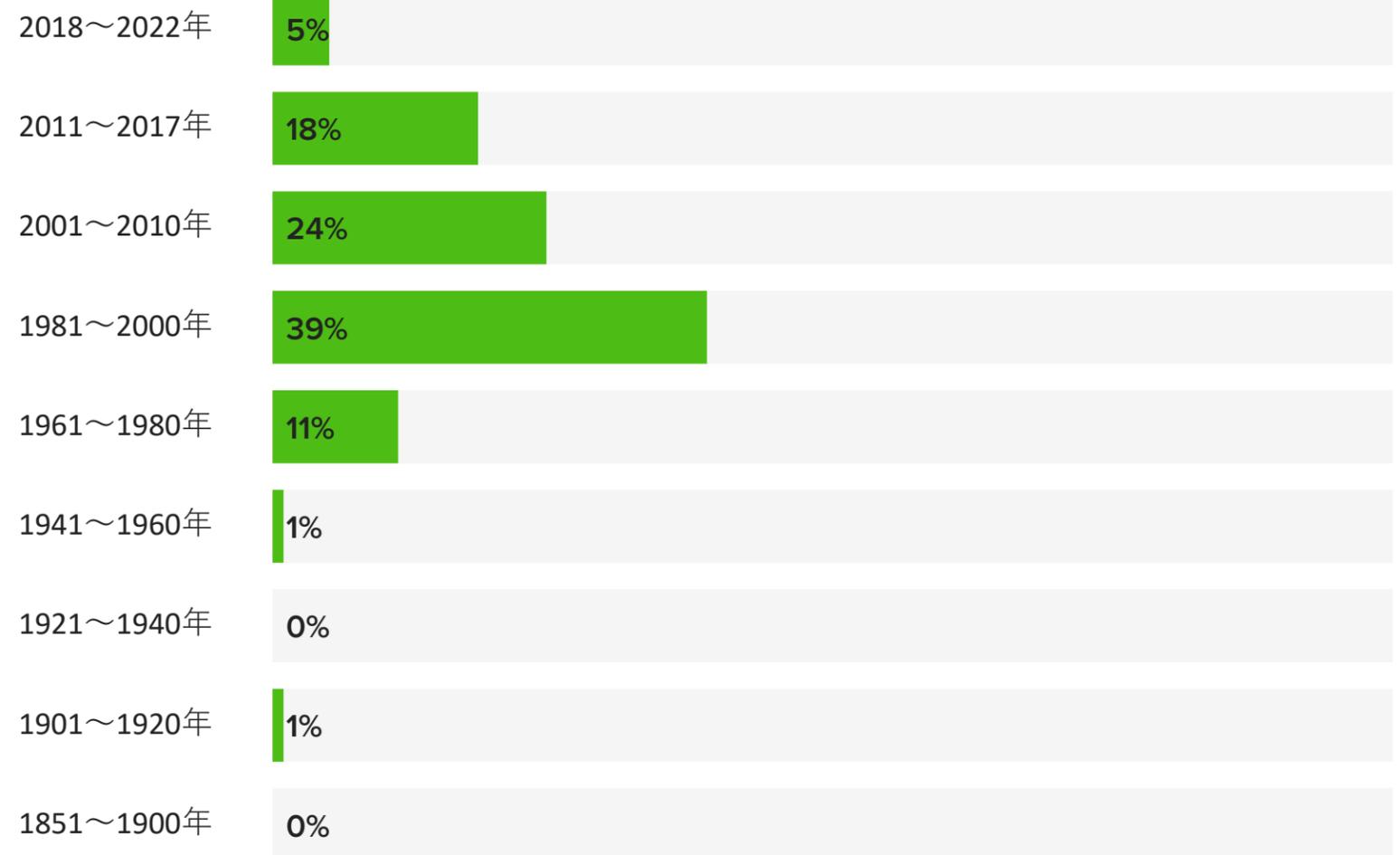
子供が同居している世帯 **50%**

世帯年収

750万円未満	29%
750万～1250万円	40%
1250万円以上	30%

B. 2021年にリフォーム・リノベーションをした住宅の特徴

建築年



住宅の種類

一戸建て住宅（一世帯用）	59%
中高層マンション・アパート（4階建て以上）	26%
一戸建て住宅（二世帯・三世帯住宅）	10%
その他	5%

住宅の推定価格（自己評価額）

3000万円未満	49%
3000万～5000万円	31%
5000万円以上	20%